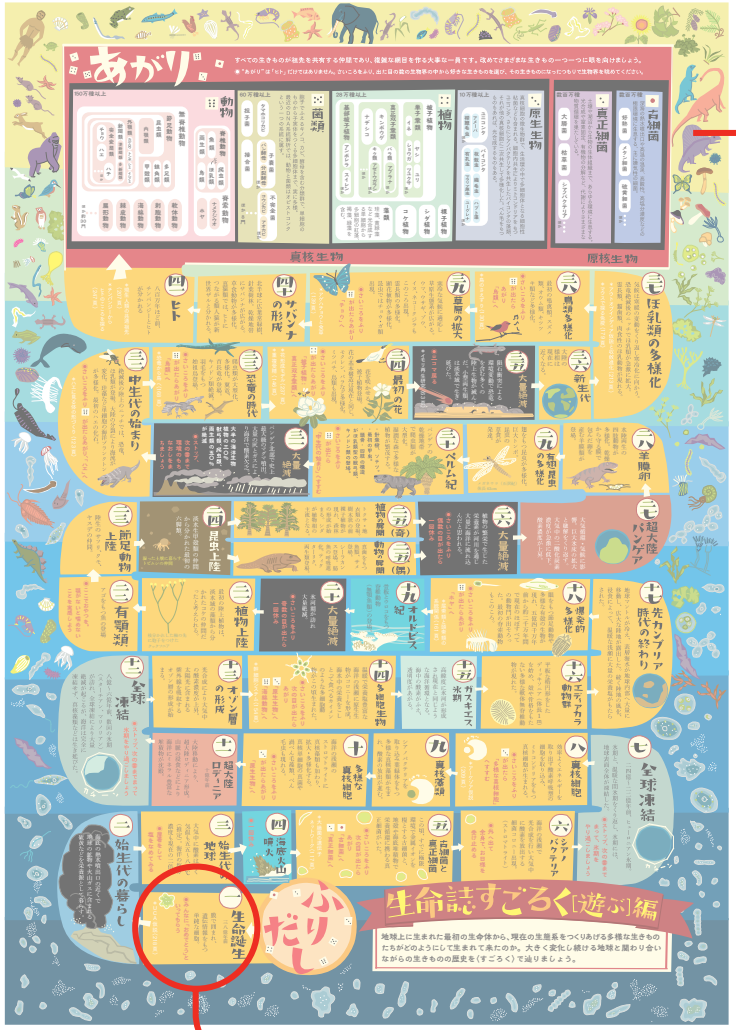

現在の
地球生態系

生命誕生
（38 億年前）

遊ぶまえに　――生命誌すごろくについて――

生命誌絵巻に描いた三八億年の道のりをすごろくに仕立てました。

このすごろくの“あがり”は、現在地球上で暮らす多様な生きものの世界、さいころの目の数と同じ六つの生物界からなります。ある生きものが誕生するマスにコマが止まり、そこである目が出ると、その生きものとして“あがり”になるのがこのすごろくの特徴です。一番早いと古細菌で“あがり”です。古細菌は太古に誕生しましたが、現在も海底や泥の中で暮らし続けています。ですから、古細菌で“あがり”があるのです。もちろん、真核細胞となり、多細胞化を経て上陸した植物や動物になってからの“あがり”もあります。

しかし、後に誕生したものがよりよいというわけではありません。

生態系は常に生きもの同士の緊密な関わり合いで成り立っており、どの生きものも大事な存在です。一つ一つの生きものが三八億年のドラマをもっています。ホヤになったりコケになったり。たまたま自分がそこであがりになった生きものがどんな存在か、ホームページの季刊「生命誌」の記事を探してみてください。